ハンドメイドのお金メモ

書き方見本 ／ 下の取引はすべて架空の練習例です

まずは、何を買ったか・何が売れたかと、確認できる明細を残しましょう。
買った金額と、1作品に使った材料費は別です。

1 材料を買ったとき

購入した日	10月1日
相手先・内容	手芸店A ／ 作品用の毛糸2玉
払った金額・方法	550円 ／ 現金
明細の保存場所	封筒「10月」 ／ レシート A01

2 販売サイトの売上と振込を照らし合わせる

売上の明細	10月5日 ／ 販売サイトA ／ 注文 S01
作品・内容	小さなくまのあみぐるみ 1個
売上明細の金額	3,000円
差し引かれた手数料	300円
振込日・入金額	10月15日 ／ 2,700円
見比べた資料	売上・手数料明細 S01 ／ 通帳の10月15日欄

3,000円 − 300円 = 2,700円
振込の2,700円を、売上3,000円にもう一度足しません。
2,700円は利益ではなく、材料や梱包などの費用は別に確認します。

この例では送料・振込手数料などを省いています。300円は特定サービスの実際の料金ではありません。売上を記録する時期は、振込日といつも同じとは限りません。

書き方の説明：miche「会計・帳簿・経費の基本」
https://michecloche.com/handmade-business/handmade-ledger/

ハンドメイドのお金メモ

手書き練習シート　/　A4・実際のサイズ（100%）で印刷

まずは買い物1件と、売上に対応する入金1件から。
まだわからない項目は空欄にし、確認したいことを下に書きましょう。

1　材料を買ったとき

購入した日

相手先・内容

払った金額・方法

明細の保存場所

2　売上と振込を分けて確認

売上の明細・日付

作品・取引の目印

売上明細の金額

手数料などの内訳

振込日・入金額

見比べた資料

振込には複数の売上がまとめられることもあります。差額が合わないときは、
送料・振込手数料・返金なども含めて、実際の明細を見直しましょう。

あとで確認すること

書き方の説明：miche「会計・帳簿・経費の基本」
https://michecloche.com/handmade-business/handmade-ledger/